



←動画

さきのページで、ザップ将軍がド・キャストリー司令部跡を訪れた写真は二セものと決め付けたが、まんざらウソでは無いのかも知れない・・・この動画はフランスメディアが製作したルポルタージュ映像である。約30年前と思われる。ホーチミン大統領の死去(1969)以後、今日から約25~30年前の取材と思われる(ザップ将軍の歳格好から類推)。ザップ将軍などがインタビューに答えて当時を回想し、記録映像と取材時の現地映像をさしはさみながら編集されているプログラムになっている。(短く省略しています。)

ザップがハノイの革命博物館(?)の展示物を背にして、おだやかに話している。ベトナム軍大佐が案内してフランス軍陣地の丘やムオンタイン橋、飛行場跡地、ドキャストリー司令部やその周辺の農村風景の中に放置された兵器などが映示される。ド・キャストリーの司令部跡ではザップ将軍ではないが、nguyen van phuong 大佐が塹壕を背に、当時を回想している。

もしかしたら、この時に、ザップもド・キャストリー司令部跡を訪問しているかもしれない。ザップのこの当時の政治的な位置は知らないが、博物館を出て、市民に笑顔で取り囲まれる場面があり、ハノイ市民に慕われている様子が判る。

この映像はベトナムのテレビで放映されたものである。ザップはその後も人生の節目にテレビでインタビューを受ける姿が放映されている。ベトナム人民の深い敬愛を受け、慕われている様子が判る。彼は現在、102歳になる。ハノイで入院生活だと言われている。次にいくつか映像を紹介します。



←動画

ザップ90歳の祝賀と言われる。身近な人たちによるうちの祝賀会のように見える。テレビのプログラムでは彼ゆかりの人物が記録映像を挟んで回想しているようだ。ベトナム語が理解出来たらな・・・



←動画

ザップ100歳の祝賀会と言われる。ここでも公的な大規模な祝賀会ではない。新たに勲章が授けられたようだ。この贈呈者が誰であるか知りたところだが、わからない。齢を重ねたザップである。

こんなものを見ながら、次は整備し、保全されているA1の丘へご案内しましょう。



【A1の丘】
フランス軍はディエンベンフー盆地内の小高い丘3箇所に強固な陣地(塹壕)を築いた。それらのうち、最後までフランス軍が立てこもった丘の一つがA1の丘である。破壊されたフランス軍の戦車が置かれ、丘のうえには記念碑が建てられ、ディエンベンフーのまちが見渡せる。少し下がるとベトナム軍の1トン爆弾のクレーターが補強して残されている。さらにベトナム軍が要塞(塹壕)攻撃用に掘り進めた塹壕が残っている。この塹壕がフランス軍陣地周辺に網の目のように張り巡らされていたと言われる。左の図面は博物館に展示されていた、A1の丘の戦略図。

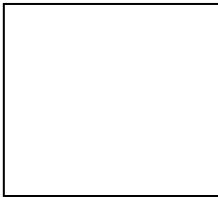


↑チケット売り場を通り、フランス軍の破壊された戦車を見ながら小高い丘を登る。



↑↓フランス軍の陣（塹壕）を取り囲むように縦横にベトナム軍が掘り進めたトレンチが続きます。ベトナムのトレンチはコンクリートで保全されているが、素堀りのものであったろう。

テイエンビエンフーの戦闘記録映像をお見せします。その①↓



←動画

Discovery channel で放映された映像です。旧ソヴィエトの映画監督ロマンがザップ司令官の許可のもとに、ベトナム軍側から撮影したものである。テイエンビエンフー作戦の様子がよくわかります。フランス軍司令部の陥落・フランス軍の降伏、ザップ司令官の指揮など詳細である。少し長尺であるが、ご覧ください。



↓ 記念碑



↓ 現在は住宅地が丘に迫る。



↓ 広い穀倉地帯がみわたせる。丘に沿ってトレンチ





↑ 1トン爆弾のクレーター



↑ クレーターの手前、さらにその向こうにもトレンチ



↑ ↓ 丘は盆地の四方の眺望にすぐれている。ド・キャストリーの司令部は指呼の間である。



↓ ↑ 盆地内は平坦で広い農地が広がる。その中の小高い丘。遠くに見える山並み。ベトナム軍は「物資輸送は不可能」と考えられていたこの山中を昼夜を問わず、軍を進め、砲や弾薬を運び続け、稜線にたどり着くこととなる。すべて人力である。重兵器は分解して運び上げた。博物館の展示でみたとおりである。さらにトレンチを網の目のようにはりめぐらせ丘を包囲することとなる。



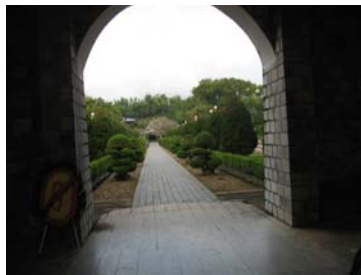
← フランス軍の破壊された戦車が置かれている。例の仏具店の長く太い線香が供えられている。



↓丘を下りてくると、破壊されたフランス軍の兵器が集められ展示されている。装甲板を破って飛散した戦車など、生々しい。

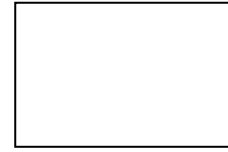
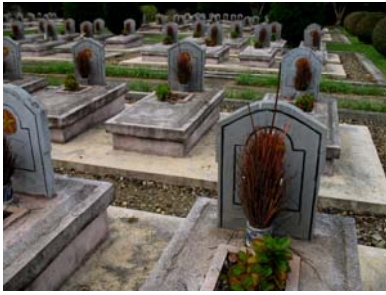


A1の丘に隣接して、ベトナム人民軍墓地が整備されている。これもプロジェクトの一環と思われる。



↓↑荘厳なゲートをくぐって入る。美しく維持管理されているのがわかる。





↑ 墓標には戦死者の名は刻印されていない。どれにも線香が供される。

↑ 動画
音楽が流れます

北へバイクタクシーで5分も走ると「勝利の記念像」が設置された丘に着きます。ここも、フランス軍が陣を築いた丘の一つ。2002年、勝利50周年を記念して整備された。テイエンビエンフーの町や盆地の様子がよく見渡せます。像はド・キャストリー司令部を陥落させ、人民軍旗をひるがえす兵士がモデルになっていると言われる。



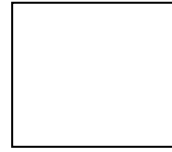
↑ バイクタクシーは喘ぎながら丘の上まで運んでくれる。スロープを上ると巨大なモニュメント。



← ↑ 丘の上からは、盆地が眼下に望める。A1の丘より相当高い。正面の広い道路がナムソン川を横切って広い道路に突き当たる。右がバスターミナル。突き当たりの広い道路から手前に市街地が収まっている。その先は広い穀倉地帯。稜線は遥か遠い。
← 階段を使って、市街に降りる。夕闇が迫ります。



↑階段を下りると巨大なレリーフ。



↑動画
レリーフ

デイエンピエンフーの戦闘記録映像をお見せします。その②↓



←動画

ベトナム民主共和国暫定政府樹立から第一次インドシナ戦争デイエンピエンフー攻防戦に至る歴史的経緯。これも discovery channel で放映されたものです。



↑喧騒のまちに戻りました。Policeのトラックが拡声器で叫んでいます。例の交通安全啓発です。なにやら kabab を売る屋台。ケバブ風の焼き肉と野菜のサンドイッチであるが、これが美味い。口に合う。次の日の朝、朝食代わりにと、訪れたが、出店は夕暮れ時のみ。